

寄贈図書リスト

現代天文学史, 小暮智一, 642頁, A5判, 4,900+税,
京都大学学術出版会
人は宇宙をどのように考えてきたか, Helge S.
Kragh 著・竹内努, 市來淨與, 松原隆彦共訳,

424頁, 菊判型, 4,600円+税, 共立出版
ブラックホールの天文学, 嶺重慎, A5判, 3,300+
税, 日本評論社
インターネット望遠鏡で観測! 現代天文学入門, 慶
応義塾大学インターネット望遠鏡プロジェクト/
編, 160頁, 菊判, 2,000円+税, 森北出版

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

東京大学宇宙線研究所助教

1. 助教・1名
2. (1) 附属神岡宇宙素粒子研究施設
(2) 岐阜県飛騨市
- 3, 4. スーパーカミオカンデおよびT2K実験において研究を推進する。特に大気・加速器ニュートリノ研究, 核子崩壊探索において中心的な役割を担う。さらに水純化システムなど, スーパーカミオカンデ実験装置の維持運転も行う。また, 施設が推進する将来計画にも参画する。これまでの研究分野を問わない。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし
6. 博士号を取得している者および着任時までに取得見込みの者
7. 応募者は以下の(1)から(5)までの書類を, e-mailに添付 (電子ファイル) で提出してください。(6)の意見書・推薦書は, 作成者から直接e-mailに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・意見書・推薦書のファイル形式はpdfとします。e-mailによる提出に対しては, 受

信した旨の返信をしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください。

- (1) 履歴書, (2) 研究歴 (A4判で3頁以内), (3) 業績リスト (論文リスト, 研究発表リスト等), 及び主要論文別刷 (5編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること。(4) 着任可能時期, (5) 着任後の研究計画 (A4判で3頁以内), (6) 意見書または推薦書2通
8. 平成28年3月22日 (火) 17時必着
9. (1) e-mail: application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
(2) 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑雅行
電話 (0578)-85-9603
e-mail: nakahata_at_suketto.icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
10. 応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 選考は選考委員会による書類選考の後, 面接を受けていただくことを原則とします。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき, 女性の応募を歓迎します。

東京大学宇宙線研究所教授

1. 教授・2名
2. (1) 高エネルギー宇宙線研究部門
(2) 千葉県柏市

- 3, 4. 高エネルギー宇宙線の観測的, あるいは理論的研究を行う. 現在本研究所で進める研究の推進にあたって中心的役割を担える方, また, 将来計画の策定・推進にあたって中心的な役割を担える方を求めます.
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし
6. なし
7. 応募者は以下 (1) から (5) までの書類を, e-mail に添付 (電子ファイル) で提出してください. 応募書類のファイル形式はpdfとします. e-mail による提出に対しては, 受信した旨の返信をしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください.
(1) 履歴書, (2) 研究歴 (A4版で3枚以内), (3) 業績リスト (論文リスト, 研究発表リスト等), 及び主要論文別刷 (5編以内). 提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること. (4) 着任可能時期, (5) 着任後の研究計画 (A4判で3枚以内),
8. 平成28年4月11日(月) 17時必着
9. (1) e-mail: application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
(2) 東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章
電話 (04)-7136-3100
e-mail: application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
10. 応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください.
11. 選考は選考委員会による書類選考の後, 面接を受けていただくことを原則とします. 面接を受けていただく方には詳細を連絡します.
「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき, 女性の応募を歓迎します.

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 宇宙物理学研究系
(2) JAXA 相模原キャンパス
- 3, 4. 天文学・宇宙物理学研究に深い学識と経験および実績を有し, 宇宙マイクロ波背景放射の観測による初期宇宙研究を中心に, リーダーシップをもって研究を推進できる人材を求めます. 当面は,

戦略的中型ミッション候補のひとつとして検討が進められている, 宇宙マイクロ波偏光観測衛星 LiteBIRD 搭載観測装置の開発を進めるものとします. 今回募集する教授は, 宇宙物理学研究系に所属し, 具体的な職務内容は以下の通りになります.

- (1) LiteBIRD チームの観測装置全体 (極低温検出器・低温信号処理装置, 光学系, 冷却システム, 室温信号処理装置など) のリーダーとして, 他のチームメンバーやJAXA職員, 担当メーカー, 国際協力の相手方と協力して, ミッション機器の開発を推進する. また, システム担当と協力し, ミッション達成に最適のバス系の開発を推進する. (2) JAXAがもつ大学共同利用の役割を理解し, 大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともにJAXA内の各種活動に積極的に参加し, 専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献する. また, 大学院学生の教育・指導を実施する.
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
(2) 任期なし. 63歳定年制. (クロスアポイントメント制度による任期を定めた任用も可能)
6. 博士号を宇宙理学分野で取得していること. また, 上記3, 4の職務内容に鑑み, 少なくとも次の条件を満たすものとします. (1) ミリ波・サブミリ波による宇宙観測技術の開発研究の経験をもち, 世界レベルで評価される実績をもつこと. (2) 衛星搭載のミッション機器の開発において, 優れたリーダーシップを発揮する能力をもつこと. (3) 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有すること.
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文の別刷 (3編以内), (4) これまでの研究概要と今後の研究計画 (プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む), (5) 外部研究資金獲得実績 (外部資金の種類別, 金額, 研究代表/分担を明記すること), (6) 他薦の場合は推薦書2通, 自薦の場合は本人について意見を述べることでできる方2名の氏名と所属, 連絡先 (電話番号, e-mail アドレス).
8. 2016年4月15日 (金) 必着
9. (1) 〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所科学推進部人事係
Tel: 050-3362-5412
(2) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
宇宙物理学研究系研究主幹 堂谷忠靖
Tel: 050-3362-5544,
e-mail: dotani.tadayasu@jaxa.jp

10. 封筒の表に「宇宙物理学研究系教授応募書類在中」と朱書きして、書留便にて郵送のこと。応募書類は返却いたしません。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。
11. 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。詳細は、http://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.htmlをご覧ください。

国立天文台ハワイ観測所助教（国際公募）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学, および関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用観測を推進しています。補償光学技術を用いた観測装置として、AO188とレーザーガイド星システム(LGS)を運用し、またSCEXAOを使ったハイコントラストイメージングによる系外惑星の研究も推進しています。さらに、将来計画として、可変副鏡を軸とした次世代補償光学システムの検討も進めています。そこで、今回の公募では、すばる望遠鏡からより一層の科学的成果が創出されるよう、観測装置、特に補償光学システムの科学運用・保守・性能向上を中心となって進めるとともに、次世代補償光学システムの検討・実現を推進することのできる意欲ある助教を広く求めます。職務および必要な能力の詳細については、下記を参照してください。
http://www.subarutelescope.org/Announce/2016/01/19/j_index.html#1
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし(5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります。定年は65歳です。)
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績, (4) 計画書(個人で行う研究計画に加え、期待される職務を遂行するにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください), (5) e-mailアドレス, (6) 評価書2通(ただし、評価書は評価者ご本人から直接提出先e-mailアドレスへ提出するよう依頼し、応募書類には評価者の氏名、連絡先を記載すること)
8. 日本時間2016年3月31日(月)17時必着
9. (1) 応募書類をapply-hawaii-assis20160331_AT_

nao.ac.jpへメール添付で送付(AT_を@で置き換えてください。以下同様)

- (2) 国立天文台ハワイ観測所長 有本信雄
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,
Hilo, HI 96720, U.S.A.
e-mail: arimoto_AT_naoj.org
10. ・すべての応募書類(上記7.の(1)~(5)および(6))はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。
・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール一通につき10 MB程度まで)。
・応募書類が受理されると祝休日を除いた3営業日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合には、apply-hawaii-assis20160331_AT_nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. ・給与待遇は年俸制となります(年額の12分の1を月額支給)。
・選考は国立天文台運営会議で行います。
・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

会務案内

公益社団法人日本天文学会 2016年度 (2016年4月1日~2017年3月31日) 事業計画書と予算書

2016年1月10日(日)に開催された代議員総会で2016年度の事業計画書と予算書が承認されましたのでお知らせいたします。事業計画書と予算書は電子版で天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しております。書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

公益社団法人日本天文学会2016年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりで、欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、学会名簿(隔年発行)の発行、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。2016年度はこれらの定常的事業に加えて「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行も予定しています。

また、2016年度は会長選挙(2017~2018年度の2

年任期)を行います。

公益社団法人日本天文学会 2016年度予算書の概要

昨年度の学会の収支と今年度の執行状況を踏まえて、今年度に引き続き2016年度も正会員(学生)の年会費を減額し10,000円とすることになりました。

経常費用については、事業計画に基づき予算科目に「シリーズ現代の天文学作成経費」を追加し、学会ホームページ新規作成のため広報活動経費を、そして会員名簿作成のために印刷製本費をそれぞれ増額しています。また職員給与の見直しと業務引き継ぎのための増員で給与手当が増額しています。

そのほかはおおむね例年どおりの予算となっています。

(文責庶務理事: 山下卓也, 会計理事: 柴田克典)

年会開催地立候補の募集

昨年より日本天文学会では年会開催地の立候補の募集を行うことになっています。今回、募集する年会は2018年9月秋季年会と2019年3月春季年会の開催地です。皆様、奮ってご応募お願いします。

詳しい内容は、学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。

締め切りは4月初旬を予定しています。

(庶務理事: 山下卓也)

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2016年度からの移籍、2015年度末退会希望の方で、

まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急書類のご提出をお願いいたします。書式は当学会ホームページ「各種手続・書式」からダウンロードできます。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2016年度(2016年4月~2017年3月)会費の納入期間は、2016年3月、4月の2ヶ月間です。

正会員: 18,000円

正会員(学生): 10,000円 ※

準会員: 8,000円

予稿集予約購読代: 4,000円(予約している方のみ)

※2016年度も正会員(学生)会費の値下げが継続されます。

13,000円→10,000円

・会費の口座自動引き落とし登録のない方には、3月上旬にコンビニエンスストア専用払込票を郵送します。

・口座自動引き落とし登録の方は、2016年4月11日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。

・海外在住の方は、上記金額をご確認の上、クレジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。

※払込票の控え、またはクレジットカード会社・金融機関の利用明細、引き落としが印字された通帳のコピーをもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りします。

賛助: 30,000円(1口) 団体: 10,000円

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年2月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)